

# よもやまだより 5月号

発行：玉庭地区交流センター四方山館 住所：川西町大字玉庭 6708-5 電話：0238-48-2130 F A X：0238-48-2131 MAIL：tama-cen@ms5.omn.ne.jp

## 令和5年度 玉庭地区交流センター役員について

〔任期2年 令和5年4月16日～令和6年度総会まで〕敬称略

4月16日(日) 玉庭地区交流センター四方山館総会をもってご承認いただき、令和5年度の役員が決定いたしました。配布いたしました総会資料もあわせてご確認くださいませよう、よろしくお願いたします。

**館長** 佐藤準一(酒 町)

**副館長** 加藤友市(朴 沢) 今井俊宏(御伊勢町)

### 役員会役員(自治会長)

安部和也(上和合) 大滝治則(御伊勢町)

黒澤和典(中 程) 浦田英明(松 尾)

小野昌彦(酒 町) 鎌田 寿(柏ノ木西)

加藤啓一(朴 沢)

**役員会監事** 伊藤彦之(上和合) 石栗繁典(酒 町)

**役員会顧問** 吉村 徹(酒町/町議) 鈴木孝司(松尾/前館長)

### 運営委員

渡部新正(上和合) 藤田宥宣(御伊勢町)

村山邦男(御伊勢町) 角石 勇(中 程)

佐藤昌子(酒 町) 本間昌司(酒 町)

佐藤 修(松 尾) 長沢耕次(柏ノ木西)

大河原弘(朴 沢) 遠藤光一(朴 沢)

### 自治会長会

会長 小野昌彦(酒 町) 副会長 黒澤和典(中 程)

監事 大滝治則(御伊勢町) 鎌田 寿(柏ノ木西)

**公民館長代表** 鈴木茂明(松 尾)

**愛護会会長** 高橋藤幸(松 尾)

## 新任のご挨拶

4月16日の総会において、ご承認をいただき、今年度から令和6年の総会まで館長をやらせていただきます。総会資料をお配りいたしますので、ご確認の程、よろしくお願いたします。玉庭地区の柱となる4つの分野を中心として事業のさらなる拡大、充実を図るとともに、諸問題の克服を目指して活動を進めていきたいと考えています。2020年からの新型コロナの感染拡大により、事業に大きな影響が出ておりました。事業の中止、規模縮小での実施でした。3月13日にはマスクの着用は自己判断に委ねられました。また、今月8日には感染症法上の2類から5類に移行されました。しかし、コロナの収束の見通しは立たないので、感染対策をしっかりとりながら、各種事業を行っていきたく考えです。元の形に戻せるのが一番良いことですが、今年度の事業すべて元に戻すのは難しいのかと思われまます。

すでに皆様ご存知の通り、玉庭小学校が今年度いっぱい閉校になります。来年4月からは小松小学校に統合となります。私たちが学んだ母校が無くなってしまうのは、寂しい思いをいたします。この小学校が無くなるということは、玉庭にとって非常に大きな出来事です。来年、閉校した後、玉庭がどういう風になっていくのか、すごく案じられます。何が課題になっているかを、もう一度見直しをして玉庭の活性化につながる対策を講じていきたいです。校舎と体育館は残るので、それをどう活用していくかなど。閉校が決まる数年前から、四方山館がすでに老朽化が進んでいることもあり、ここの機能を小学校に移したらどうかという話も出ておりました。これら話については、閉校は来年だが、年度内に話し合いを始めたいと思っています。

また、菅沼峠について、中津川地区と連携をとりながら、早期の整備を県に要望してきました。おかげさまで、今年度から改良工事が始まります。先月21日に総合支庁に行き、これからのスケジュールについて話をしてきたところです。これからも期成同盟会を中心に活動を継続していきます。地区の皆様のさらなるご協力をいただきながら、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

令和5年5月15日 玉庭地区交流センター四方山館 館長 佐藤準一

## 退任のご挨拶

4月16日の総会をもちまして、館長を退くことになりました。これまでの4年間、地区の皆さまには何かとお力添えをいただき、心より感謝しております。ありがとうございました。就任年度の末に、新型コロナウィルスによる緊急事態宣言が発表され、パンデミック、行動制限、などなど、今までの人生を振り返ってみましても、経験したことのない状況に、つい、負の気持ちが先に来てしまった時もありました。しかし、そのような中でも、知恵をしぼりあひながら、事務局一丸となれたこと、また、地区の皆さまのご理解・ご協力に支えられながら、これまで乗り越えてこられたこと、本当に感謝でいっぱいです。

後任の佐藤準一さんとは同級で、遠慮のいらない間柄から、私の在任期間中は副館長として支えてくれました。コロナウィルスも5類に引き下げられた事から、玉庭らしく活気溢れる年になると思います。これからは顧問として、もう少し四方山館事業に携わることになります。4年間あっという間でした。

みなさん、本当にありがとうございました。

令和5年5月15日 鈴木孝司

## 花いっぱい運動について

### 6/4 (日) 各自治会にて

花苗配布は四方山館車庫  
6月3日(土) 8:00~10:00  
※以前お送りした自治会長さんへの案内文の日付が令和4年となっております。申し訳ありません。正しくは5年です。



## 新蔵峠清掃活動について

### 6/11 (日) AM6:00~

衛生組織連合会玉庭分会役員、  
不法投棄監視員、自治会長、  
公民館長の皆様にご案内を  
お送りいたしました。  
ご確認ください。



大人気の花講座を今年も開催します。  
講師は小松花屋・佐藤光弘先生にお願いしております。

- 第1回 6月24日(土) 9:00~
- 第2回 8月26日(土) 9:00~
- 第3回 10月21日(土) 9:00~
- 第4回 12月23日(土) 9:30~
- 第5回 2月17日(土) 9:30~



各回共に、よもやまだよりで  
ご案内いたします。  
皆さまのご参加お待ちしております。



森組さんのように、活動内容など掲載希望の方は  
四方山館まで！毎月5日までに原稿をください♡

## 電気柵の貸出を行います

令和5年度、電気柵の貸出を行います。  
下記で確認のうえ、まずは四方山館まで、  
お申し込みください。

4月15日(金)から先着順で受付中です。  
希望される方は四方山館までご連絡下さい。  
※電気柵は数に限りがあり、先着順となっています。  
※初めての方を優先させていただきます。  
※随時、電気柵講習会を行いますので、  
必ず参加が必須条件です。

また、パチンコの貸し出し、猿除け花火の  
在庫もありますので、希望される方は  
四方山館までお越しください。



募集

## 支援育成事業助成金について

住民同士のネットワーク等の向上を目的として、玉庭地区  
住民が主体となり活動を行う団体や事業に支援育成事業と  
して今年も助成を行います。これまで申請した事のない方  
や、新たに団体を立ち上げた方などは是非、この機会に申請  
をご検討下さい。

### ■申請の条件

- ※ 玉庭地区民が主体となり活動を行う団体や事業であること。
- 1. 団体助成・年間を通して(1年間に概ね4回以上)活動している、または活動すること。
- ※地区や町、上部団体から既に助成が出ている場合は申請できない。
- 2. 事業申請は・1事業ごとに申請する

### ■助成金

団体助成、事業助成とも上限を3万円といたします。  
※ 申請団体等が多数の場合は変更になる場合もございますので、  
ご承知置き下さい。

### ■申請の締め切り日時

- 5月31日(水) 17:00まで
- 昨年申請して下さった団体等の皆様には直接申請書等を送付いたします。
- 申請書は四方山館にあります。
- 詳細は四方山館(48-2130)までお問い合わせください。

### ◎外郭団体総会のお知らせ◎

身障者福祉会、衛生組織連合会、書面決議にて過半数の方よりご承認をいただきました

温井平わらび園オープン！火・木・土8:00~10:00 料金は¥400/kgです。

玉庭ドッグランオープンしております！！是非ご利用ください(▽▽)/

## 森組通信

発行：玉庭森組

わらび園の話です。一昨年秋に上和合の伊藤健一さんが亡くなりました。そこで、地元の多くの方々から、なんとか温井平のわらび園を残せないものかという話がありました。詳細は申せませんが、その事を重く受け止めて、当玉庭森組で継続する事出来ないものかと考えておりました処、わらび園の土地を所有している方と連絡が取れ、昨年からは温井平わらび園の運営を行ってまいりました。このわらび園が観光施設かどうかは微妙な点があります。しかし、玉庭地区に地区外の方が訪れる事の出来る数少ない場所の一つでもありますし、大切に守りたい場所でもあります。

昨年夏の豪雨被害で、上和合からの林道が一部崩落したり、旧温井地区からわらび園までの道路も大きな被害を受け、一時は今年の開園は無理かもしれないと感じていました。しかし、町当局の協力もあって、崩落した林道区間の修復日も出来、わらび園までの狭い道も自力で修復することが出来ました。これでなんとか開園できる事となった次第です。今年の開園日は5月11日です。この記事が読まれる頃にはわらびは最盛期を迎えていると思われれます。地区内の皆様も機会がありましたら是非一度訪ねてみてください。こんな所があったんだな〜と、見て欲しいのです。現在玉庭森組は、このわらび園を次の世代に引き継いで欲しいのです。第一走者から引き継いだバトンを次の走者に渡す繋ぎの役割だと思っています。問題は次の世代が居るかどうか？厄介な問題ですね。



編集後記 森組通信にドキッ！次の世代とは我々世代かな？担い手の不足以外にも課題山積の玉庭。さて、どう乗り越えようか...

藤本